城陽環境パートナーシップ会議
できることからはじめよう！

城陽エコパートナー通信
Vol.31

発行日：平成 23 年(2011 年)10 月 27 日　　編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
会員数：306 人（9 月 30 日現在）　　（事務局）Tel(56)4061　Fax（56)3999

✿家庭でできる冬の省エネ・節電　　文・小林委員

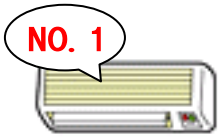
■人体も発熱体！「100 ﾜｯﾄ」も！

人は、概ね 1 日 2600k ｶﾛﾘｰ消費して生活しています。これをワットに換算すると 126 ﾜｯﾄになります。人の必要とする熱量の多くは、約 36℃の体温を維持するために使われています。昔から 1 人の人は「100 ﾜｯﾄの電熱器」に相当すると言われてきました。したがって、大人「1 人 100 ﾜｯﾄ」の熱を出し続けているのです。この自力発熱「100 ﾜｯﾄ」が冬の省エネの「キーワード」です。

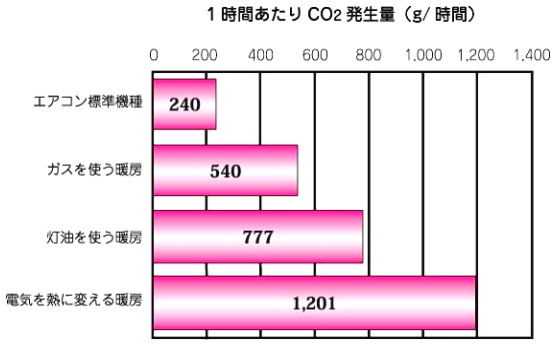
1. 先ずは、ウオームビズから！

冬季の省エネ・節電のためには、人体から発熱する「100 ﾜｯﾄ」のエネルギーが、どんどん発散すると寒いと感じるのです。したがって、発熱した熱を体外に放熱しないように、出来る限り「暖かいもの・ヒートテックシャツ」を着て、放熱を抑えることです。特によく放熱するのは、「首まわり、手、足」ですから、家にいても、「襟巻、ロング靴下、指の出る手袋、膝かけ等」の着用が効果的です。また、軽い運動もいいでしょう。まずは、他からのエネルギーを頼らずに、「100 ﾜｯﾄ」のエネルギーの自給自足に挑戦して見ましょう。

2.「エアコン」暖房が環境にもサイフにもダントツ優しい！



図は、家庭における暖房器 1 時間当たりの CO_2 排出量を示します。電熱器（電気を熱に変える暖房）はエアコンの 5 倍、灯油は 3.2 倍の CO_2 を排出していることが分かります。費用面では、安いと言われている「灯油でも実際は 2 倍、ガスで 3 倍、電熱器で 5 倍」とエアコンが安く、環境にも優しい。なお、エアコンで直ぐに温まらなく、寒い場合は、ガス・灯油・電熱器を短時間補助的に使うのはよい。(詳しくは当会通信の Vol.24 号を参照ください、ＨＰから見られます)。



出典：鈴木靖文(ひのでやエコライフ研究所)(2008)

3. お風呂・給湯の節約が効果大！

冬季の家庭内でエネルギー消費の多いのは、何といっても「お風呂・給湯」です。夏と違って外気との温度差が大きいために、水を温めるエネルギーが多く必要になります。しかも、冷めやすいのです。具体的には、「お風呂は続けて入る、シャワーは流しっぱなしにしない、炊事には、ゴム手袋を使う」など工夫してみてください。我が家では、お風呂のお湯を「湯たんぽ」に入れ、布団の中や机の下において省エネ・節電に努めています。

4. 断熱シートの活用！

アルミ反射のついた、断熱シートは「魔法瓶効果」で熱を逃がさないだけでなく、人体の熱をも活用できます。「布団、座布団、カーペット、コタツ、電熱シート」などの下に敷くと放熱が少なく、省エネ・節電につながります。体熱「100 ﾜｯﾄ」の放熱を極力少なくしましょう。かつ、体温が下がると、風邪や病気にかかりやすいと言われてもいます。賢い知恵で、環境に優しく、健康な冬を過ごしましょう。

第10回城陽市環境フォーラム

～どうする？私たちの未来とエネルギー～

日時：11 月 26 日(土)　11:00～16:00

会場：文化パルク城陽

東日本大震災に伴う原子力発電事故をきっかけとして、エネルギー問題に対する関心が高まる中、環境負荷が少ない家庭用燃料電池の活用や、再生可能エネルギーについて学び、エネルギーの有効活用について考えてみましょう。

エネルギーについて「知る・体験する・実践する」が集合！
11:00～16:00　（会場：市民プラザ）

我が家の省エネ診断

何を省エネすればいいのか・・・？
省エネ診断で、家庭の現状を知り、効果的な温暖化対策を提案します。

展示クイズ景品交換場所

各ブースの中にクイズの答えが隠れています。答えを探し、全問正解をして景品をゲット！(先着 60 人)

申込・問合せ

城陽環境パートナーシップ会議事務局
TEL５６－４０６１(城陽市環境課)

大阪ガス株式会社

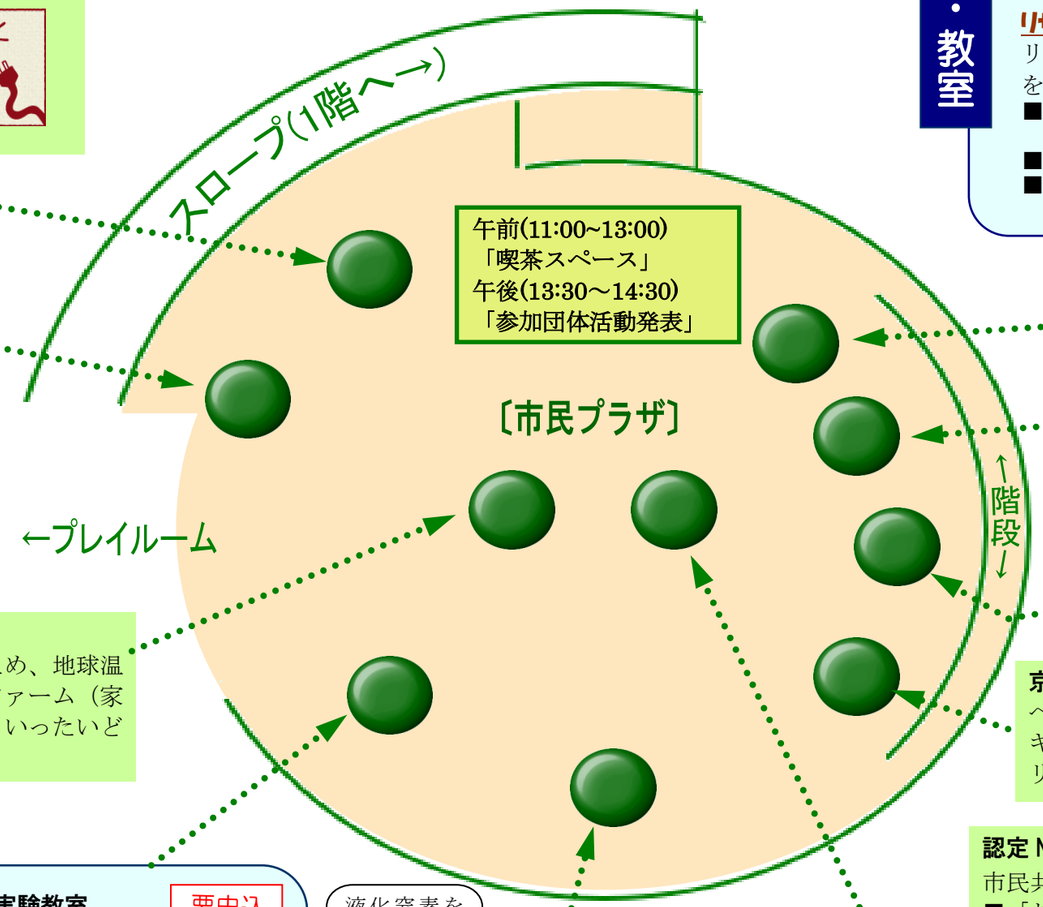
発電時に発生する熱を給湯、暖房に利用するため、地球温暖化対策の切り札として期待されているエネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)。いったいどんな仕組みになっているのかな？

みんなで考えよう！地球環境とエネルギー実験教室
～燃料電池のしくみをしろう～　(大阪ガス㈱)

要申込

燃料電池や自然エネルギーについての実験などを通し、エネルギーや地球環境について楽しく学びます。
■教室開催時間　午前(11:00~12:30)、午後(14:30～16:00)
■事前申込(城陽環境パートナーシップ会議事務局へ電話で)
■定員　午前・午後　各 20 名(先着順)　■参加費　無料
■対象　市内在住の人(小学生高学年以上)

液化窒素を使った冷熱実験もあります



学習会・教室

要申込

フード･マイレージ学習会　10:00～12:00(会場：3 階　第 3 会議室)

すぐにできる地球温暖化防止活動のひとつである、フード・マイレージについて、ゲームを通じて楽しく学びます。
■講師：西澤浩美氏(京都府地球温暖化防止活動推進センター)
■定員：20 名(先着順)
■対象：中学生以上
■参加費：無料
※参加者には、地元産野菜をプレゼント

食材の選び方が、地球温暖化防止につながることをご存知ですか？

リサイクル工作教室　10:00～12:00(会場：3 階　第 4 会議室)

リサイクルガラスを使用したオリジナル「風鈴」を作ろう！
■講師：エコ・ポート長谷山
　　ボランティアスタッフ
■定員：20 名(先着順)
■参加費：500 円(当日徴収)

コレを作ります

城陽環境パートナーシップ会議

煎茶ケーキの販売（１個 50 円）

フード・マイレージ　紹介展示
城陽旬菜市

地産地消が地球温暖化に貢献！
城陽産野菜・加工品等の販売

エコ・ポート長谷山

ビンやハギレをリサイクルした、ガラス作品・衣服作品を展示販売。

京都府再資源化事業協同組合

ペットボトル再商品化の展示紹介。ペットボトルキャップ 2 万個を使ったベンチの展示。食品をリサイクルした有機肥料の展示販売

認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド

お子様も楽しく学べます

市民共同発電所「おひさま発電所」の事例紹介。
■「おひさまありがとう。ぐりにゃんの雨だいすき！」環境紙芝居上演。大型環境すごろくで、環境について楽しく学ぼう！

城陽生きもの調査隊　生きもの調査隊の活動報告
体験ふれあいコーナー　自転車発電／ソーラーミニカーで遊ぼう！（ソーラーパネルを使用したオモチャがあります）／省エネグッズの展示／夏休みエコチャレンジ”優秀作品展示”(小学生の取組み)／グリーンカーテンへの取組み展示紹介

夏休み親子エコバスツアー
✿兵庫県立「人と自然の博物館」に行ってきました　　文：園田委員

丹波竜

７月 29 日（金）、丹波恐竜の化石の展示や、少し前に発見された羽毛恐竜（小型恐竜）の展示でも話題になっている「人と自然の博物館」に行ってきました。参加者はスタッフを入れて 33 名、なかには“恐竜大好き少年”もいました。

行きの車中では、小林委員が恐竜と省エネ活動について、クイズ形式で事前学習をしました。

博物館では、はじめに「恐竜と地球温暖化について」セミナーを受講しました。奥深い内容を、子供たちにも大変分かりやすくお話してくださり、聞く者の頭にすっと入りました。受講後から１時間、自由に館内を見学しました。館内は広く、展示内容も大変工夫が見られ、内容豊かで、釘付けになる展示箇所が何カ所もあり、全部は見切れず、もう 1 時間ほどあれば・・・と多くの人が思ったようですが、涼しい環境で、知的好奇心を大いに揺さぶられ、豊かな気持ちになることができました。

帰りのバスの中では、見学のおさらいクイズを出題し、子供たちと遊びました。クイズに正解した人から、シュロバッタとヨシ笛（どちらも名人に作ってもらったもの）、面白消しゴムの中から、好きなものを１つ選ぶのに、正解者が多く、選ぶ順番を決めるじゃんけんは、大盛りあがりでした。その後のバスの中では、ヨシ笛をもらった子の「ブーブー」という笛の音が響きました。

今までのエコバスツアーに何回か参加している、女の子 2 人と話しをしました。最初は 2 年生だったと思いますが、もう 6 年生。女の子も覚えていてくれて、毎年楽しみにしてくれているということも嬉しかったですが、解散後に、参加者がニコニコして帰っていかれる様子が、何より嬉しかったです。

✿視覚障害者協会の野鳥観察会で交流　　文：大野会長

耳のプロフェショナルの皆様と交流してきました。

９月 18 日日曜日、自然が残る城陽市南部の青谷川中流にて、城陽市視覚障害者協会の皆様が野鳥観察会を開かれました。城陽環境パートナーシップ会議は、生き物ハンドブックの作成や自然観察会を開いていることから支援を頼まれ、当日は生活自然部会の中川委員、岡田委員、上野委員と会長の大野、事務局の綱井課長がお手伝いとして参加しました。また、中川委員を通じて鳥類研究家の兵庫県立大学大学院の脇坂さんも、支援のため参加していただきました。

当日は好天に恵まれ､14名の視覚障害者の方が参加されました。中川委員が、今は５月のバードウィークの頃と違い余り鳥のさえずりが聞けないかもしれない、虫の音の方がよく聞こえるかもしれません。みなさまは耳のプロフェショナルですからと語りかけると、すぐさま参加者の中から「今鳴いている虫の音は何かわかりますか」と質問がでました。「ツクツクボーシ、ツクツクボーシ、蝉の音です。」と素早く答えが返りました。その後も虫の音や鳥の声が聞こえるたびに参加者のあいだで和やかなやり取りがされました。

パートナーシップ会議の活動は、市民の皆様の参加や他団体の協力により支えられております。今回は、他の市民団体とお互いの役割や目的を理解し合う良い交流の機会であったと思います。

◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇・・・・◇

城陽商工会議所
ガンバル経営応援します！
城陽市富野久保田 1-1
TEL0774-52-6866

東城陽ゴルフ倶楽部
京都府城陽市寺田奥山 1-48
0774-52-1161

株式会社　ミズホ
城陽市寺田袋尻 82 番地
TEL0774-52-2521
ミズホは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の１つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ㈱大久保店、近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリー食品工業㈱宇治川工場、㈱城南工建、城陽市役所、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機㈱、玉井開発、長池工業㈱、㈱長尾組、日本観光ゴルフ㈱城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、㈱平和堂アル・プラザ城陽、㈱ミズホ、森澤博光　　※平成 23 年 9 月末現在（五十音順・敬称略）